

東榛原まちづくり協議会(宇陀市)

| 項目 | 内容 |
|-----------------|--|
| 世帯数・人口 | |
| ◇世帯数 | 2,718世帯(平成30年8月31日現在) |
| ◇人口 | 6,569人(平成30年8月31日現在) |
| ◇内65歳以上人口(高齢化率) | 2,720人 高齢化率 41.4%(平成30年8月31日現在) |
| 地域の特徴 | |
| ◇まちの特徴 | 当地域は、北側の額井岳(標高822m)と戒場山(標高738m)、南側の福地山(標高521m)に挟まれた宇陀市北東部の山間部で東西に国道165号線、南北には369号線の主要道路が走っている。17自治会から構成され、歴史ある旧集落と昭和50年前後から60年代に開発された住宅地が加わり活気あふれた地域であったが、現在は少子高齢化が進展している。 |
| ◇過去の災害、想定される災害 | 主な過去の災害:昭和34年台風15号(伊勢湾台風)、昭和57年台風10号、平成29年台風21号。想定される災害:多数の土砂災害警戒区域の存在。南海トラフ巨大地震、付近活断層(名張断層)による震度6強が想定。 |

| | |
|-------------------------------|--|
| 設立年月日 | 平成25年4月20日 |
| 設立のきっかけ | 奈良県下において宇陀市が最初に「まちづくり協議会」設立を呼び掛け、東榛原地区民相互の交流と親睦を図り、共通の利益の増進、生活環境の保持・改善に努め、文化・福祉の向上と豊かで住みよい、住み続けたい、「安全安心な地域づくり」をめざしている。 |
| 目的・キャッチフレーズ | 広域的大規模災害を視野に入れ、地区内の避難所を災害拠点とし連携活動と協力体制の確保を行う。 |
| 予算規模 | 15万円～20万円 |
| 主な活動内容 | |
| ◇防災活動 | 年1回の防災訓練及び防災行政無線取扱い訓練の実施 |
| ◇防災と一体的にとりくんでいる活動(防犯・美化・福祉など) | 桜井警察署の指導による「防犯」、「交通安全運動」。室生ダム周辺の美化クリーンウォークの活動も併せ実施 |
| ◇その他特徴的な活動 | 地区防災計画、避難所運営マニュアル等の企画及び学習の実施 |
| 主な連携先(行政・学校・企業・近隣の団体など) | 宇陀市、宇陀市消防団榛原第2分団、宇陀消防署、特別養護老人ホームゆあほうむ、東榛原連合自治会、幼稚園、小中学校 |